

記者発表（記者発表・資料配布）			
発表年月日	令和5年 3月 22日（水）	担当地方機関	（公財）兵庫丹波の森協会
電話番号・内線	0795-73-0933（直通）	担当課	協会事務局企画調査課
発表者	常務理事 大垣 至康	事務担当者	谷口 加寿子
解禁日時	○無・有（ 月 日 時解禁）		
同時発表先	○無・有（ ）		
特記事項			

令和5年度 丹波の森大学 受講生募集について

昭和63年に豊かな自然と文化を活かした丹波の地域づくりの指針である「丹波の森宣言」が採択され、これを受けて平成元年には、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」が策定されました。

そして、宣言の採択から30周年を迎えた平成30年には、宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら、社会環境やライフスタイルの変化をふまえた新しい丹波の地域づくりが始まりました。

丹波の森大学は、丹波の森構想を実現するための講座として平成3年に開設し、新しい時代の中で、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として、多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座を展開しています。

つきましては、下記のとおり受講生を募集します。

記

- 1 期 間 令和5年5月27日（土）～令和6年1月20日（土）全10回
- 2 開催場所 丹波の森公苑又は丹波篠山市民センター
- 3 講義内容 学習の基本テーマ「森のデザイン」

丹波の森の空間デザインや生活デザインの視点から、丹波地域の将来像を一緒に考えます。デザインというのは、モノや空間の形を決めることとは限りません。デザインは今、「社会的課題の解決」に資するものへと間違いなく広がっています。モノ単体の視覚的な良し悪しではなく、その背景にある関係性や仕組みが注目されています。少子高齢化をはじめ多方面での課題が山積みしている日本では、その解決の糸口となるような価値を創出することが、デザインの役割なのです。地域をデザインすることは、そこに暮らす人々の生活を創造することです。丹波地域の実相を見つめ、将来を見据える取り組みにチャレンジしてみたいと思います。

- 4 定 員 60名（先着順）
- 5 受講料 8,000円 ※学生は無料
- 6 申込方法
 - ①受講生募集パンフレット挟み込みの申込書を、下記の事務局まで持参いただくか、郵送またはFAXでお申込みください。
 - ②パンフレットに表示してあるQRコードを読みとってお申込みください。
- 7 申込期間 令和5年3月22日（水）～5月14日（日）
- 8 申込み・問合せ先 （公財）兵庫丹波の森協会 講座「丹波の森大学」事務局
TEL：0795-73-0933 FAX：0795-72-5164
- 9 その他
 - ・パンフレット設置場所 丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園、丹波篠山市役所・各支所、丹波市役所・各支所、丹波篠山市民センター、丹波市各住民センターほか
 - ・（公財）兵庫丹波の森協会、丹波の森公苑のホームページに掲載